



▲ 体験コーナーでは多くの子どもたちが作品づくりを楽しみました



▲ 今回も会場にはマスコットのマナビィが出現



▲ 幕開けに琉球舞踊で花を添えた市文化協会の皆さん

多彩な演目を2日間にわたり披露しました。

本部長の知念恒男市長は「フェスティバルでは生涯学習に関する催事、情報、素材を提供し、各コーナーでは市民が楽しみながら参加することで、いつでも、どこでも、誰でも学べる生涯学習社会の気運を高めて頂きたい」と挨拶をしました。同フェスティバルでは社会教育優良団体及び功労者の表彰が行われたほか、子どもの居場所づくり発表会、セラピー犬介助、救助訓練、グラウンドゴルフ、囲碁、市民ゲートボール大会や公民館サークル等による実演・体験コーナー、健康・福祉関連資料、作品の展示が行われました。また舞台では、生涯学習の成果発表として中央公民館、社会教育・サークル活動を行っている多くの団体が多彩な演目を2日間にわたり披露しました。

第2回うるま市生涯学習フェスティバル(市まちづくり生涯学習推進本部)が2日間にわたり市具志川総合体育館を主会場に開催されました。市文化協会による幕開けの後、副本部長の前門幸雄教育長が「今回のテーマのとおりみなさんも多くの人に会い、多くのことを学んでください」と開会を宣言。

# 人に会いまわろう 学びに出まわろう

2/3~4



▲ おはしの正しい持ち方を学ぶ給食コーナーでの大豆の豆取りに挑戦。何個取れたかな？



▲ 会場を盛り上げた宮城中の生徒によるスリラダンス



▲ 舞台では保育園や児童センターに通う子どもたちが学習成果を元気に発表



▲ 指定文化財写真展コーナーで写真を見る観客



▲ 会場には多くの市民が訪れ、2日間のイベントを楽しみました。



▲ 親子に大人気の読み聞かせコーナー



▲ 軽スポーツを楽しむ子どもたち



▲ あちこちで歓声があがったグラウンドゴルフ大会